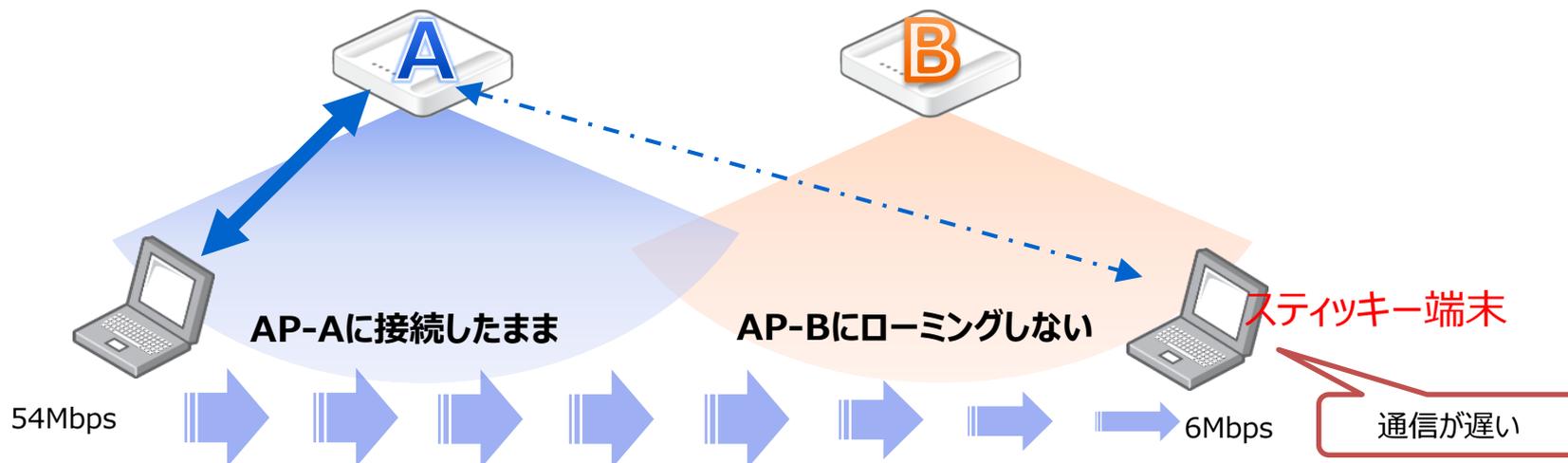


無線通信が遅い（スティッキー端末問題）

対処ポイント 無線AP 無線端末 無線LAN環境



- スティッキー端末
移動先により条件の良い無線APがあるにもかかわらず、前の無線APと低品質な電波状況で接続し続けてしまう端末を「スティッキー端末」と呼びます。
- 状況
該当の端末の通信品質が低下するだけでなく、無線AP配下全体の通信速度が、スティッキー端末の遅い通信速度にひっぱられ、低下します。

次ページ

無線通信が遅い（スティッキー端末問題）

対処ポイント 無線AP 無線端末 無線LAN環境

■ 対応策

- 無線APの設定において、低速の無線端末の接続を許可しないようにします。
- 無線端末の設定において、「ローミングの積極性」を高くすることで、最適な環境の無線APに接続するようにします。
- 使用エリアごとに無線APのSSIDを分けて運用することで、スティッキー端末の発生を抑止する構成も効果的です。

■ 対処ポイント

（無線AP）

各種製品のリファレンスマニュアルから「無線」の設定を確認します。

パラメーター項目より、レガシーレートセットにて、IEEE802.11a/b/gが接続可能な通信レートを許可します。

※電波強度の調整も対処ポイントの一つになります。（[参考](#)）

（無線端末）

「ローミングの積極性」の割合を調整します。

なお、「ローミングの積極性」の割合が高すぎた場合、別事象（[参考](#)）を引き起こすことがありますので、ご利用環境に応じ調整してください。

（無線LAN環境）

無線LANの使用エリアごとにSSIDを分けて、運用します。



前ページ